

広域医療搬送実地研修

診療部副部長 兼 脳神経外科主任部長 笹岡 昇



平成 30 年 3 月 15 日、鳥取県境港市の航空自衛隊美保基地で行われた自衛隊航空機実機を使用した広域医療搬送実地研修に、医師 2 名、看護師 2 名、業務調整員 1 名、計 5 名のチームで参加しました。この研修は、DMAT 隊員が航空機を使用した傷病者空輸を、安全かつ確実に実施することを習得するためのものです。救急車で傷病者を搬送することは、日常的に行っている医療行為ですので、慣れているつもりでも輸送機となると全く勝手が違います。輸送機の揺れや傾きにより、担架に乗せられている傷病者や機内に持ち込んだ医療資機材（心電図モニターや輸液ポンプなど）が動いてしまうと危ないので、離陸する前に確実に固定する必要があります。傷病者や医療資機材をしっかりと固定する方法や、傷病者を輸送機に搭載及び卸下する手順など通常の病院業務では経験しないことを学ぶことができました。また、自衛隊の基地内ですので、なんとなく張り詰めた雰囲気や普段立ち入ることがない場所に、自分たちがいることに対する緊張感も体感することができました。

自衛隊の協力による DMAT 研修は、地域や日程も限られておりなかなか参加することができません。今年 3 月初めに新たに導入された、さぬき市民病院の救急車両とサポートカーに分乗して、午前 7 時に病院を出発し、午後 0 時過ぎから午後 5 時までの研修を行い、その後病院に戻るという強行日程でしたがとても充実した満足できる研修でした。災害発生時には臨機応変に対応できるよう、今後も DMAT チーム全体としてブラッシュアップしていきたいと思えます。



■訓練出動時、病院前にて

■訓練の様子



■「患者用搬送車」の購入について

このたび、平成30年3月6日付にて、「患者用搬送車」を整備しました。

この車両は、救急車仕様で

- ① 患者さんの入院及び転院、社会福祉施設等への搬送
- ② 当院のDMAT（災害派遣チーム＝大規模災害時の被災地で活動できる専門的な訓練を受けた医療チーム）が被災地や訓練に出動する場合

を中心に活用するものです。

なお、警光灯、内蔵スピーカー、マイク付きサイレン、分離式ストレッチャー、器材収納庫、酸素ボンベ収納ホルダー等を搭載しており、今後は、この車両の特徴を生かし、患者さんの利便性の向上を目指すことはもとより、災害拠点病院として被災地での活動に駆使したいと考えています。



■平成29年度 第2回院内感染対策研修会

3月5日（月）、職員個々の感染防止に対する知見及び意識の向上を図ることを目的に、「HIV抗体陽性時の具体的な対応について」と題し、院内感染対策研修会を開催しました。

今回は、「病気のことを知りましょう」（呼吸器内科 南木医師）、「抗HIV治療薬」（薬剤科 三木科長）及び「血液体液暴露対策」（医療安全管理センター 中西師長）の3つの講演を行い、394名の職員が参加しました。

参加された職員の皆さんからは、「血液・体液暴露対策について再認識することができた。」「新しい情報を知ることができ参考になった。」「日々の業務で気をつけるべき点を改めて考える機会ができた。」など、たくさんの声が寄せられました。

医療職、事務職を問わず、職員全体で院内感染について知識を高め、院内感染が発生しないよう、これからも研修を行っていきたいと思います。



■接遇研修



2月19日（月）さぬき市民病院2階会議室にて、平成29年度さぬき市民病院接遇研修会を開催しました。（有）能力開発システム研究所より木曾千草氏を講師にお招きし、「相手との信頼関係をつくるコミュニケーション」と題して、ほめ言葉についてご講演いただきました。2人1組となり、お互いの良いところをほめ合うなど、従来の座学中心ではなく実践を多く取り入れた研修会に、参加された職員の皆さんからは、数多くの好評をいただきました。さぬき市民病院をよりよくするために、さらに職員間の信頼関係を構築し、これからも患者さんに満足していただけるサービスを提供していきたいと思います。

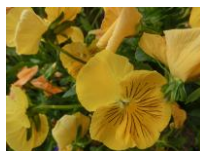


♡ ほっと、一息 生花集 by おちゃめの会

毎週、素敵なお花を飾ってくださる、生花愛好グループ『おちゃめの会』のボランティアさんたちによる3月の生花をお楽しみください

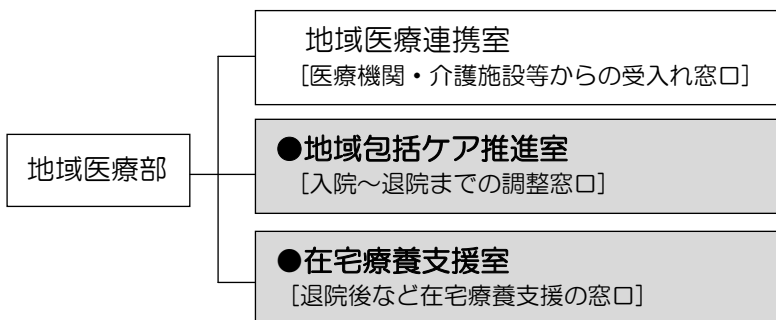


♡♡♡♡
LOVE
♡♡♡♡



当院、正面玄関脇の花壇に、香川県立石田高等学校の生徒さんがパンジーなどのお花を植えてくれました✿

地域医療部からのお知らせ



●地域包括ケア推進室紹介

入院前から退院後まで相談・連絡・調整等を行っています。ソーシャルワーカー・薬剤師に加え、2月から退院調整看護師が1名増員され3名となりました。お気軽にお声かけください。



●在宅療養支援室

通院が困難な状態になってきている、病状が不安定、足腰が不自由で生活に支障が出ているなど訪問診療・訪問看護・訪問リハビリテーションサービスをしておりますので、お気軽にご相談ください。

【お問合せ先】

電話番号：0879-43-2521 (代表)
FAX 番号：0879-43-1530

■地域医療連携室からのお願い

大学病院や地域の医療機関との円滑な連携をスムーズに図れるよう、スタッフ一同取り組んでいます。お気軽に、お問い合わせください。

【お問い合わせ先】

電話番号：0879-43-2604 (直通)
FAX 番号：0879-43-1530



■第14回 香川脳卒中市民公開講座を開催します！！

お気軽に
お越し下さい



日 時：平成30年5月27日(日)

開催時間：13:00～15:00
(受付：12:30～)

場 所：さぬき市民病院 2階会議室

プログラム：

- 1 脳梗塞の「前ぶれ」を知っていますか？
脳神経外科 主任部長 笹岡 昇
- 2 脳卒中の時に使用する薬について
薬剤科 主査薬剤師 鈴江 奈月
- 3 脳卒中予防と健康寿命を延ばす運動について
リハビリテーション技術科 主査理学療法士 長居 孝明
- 4 脳卒中による嚥下機能低下の予防
リハビリテーション技術科 主任言語聴覚士 石長 里奈
- 5 脳卒中を予防する食生活
栄養管理科 科長 木村 千鶴

参加費：無料

予 約：不要

【主催・お問い合わせ先】

公益社団法人日本脳卒中協会香川県支部
香川大学医学部脳神経外科教室内
電話番号：087-891-2415